

# 京都府木津川市における基本計画の概要

## 計画のポイント

当該地域は、わが国の新時代を創造する文化・学術・研究の拠点としての役割を担う関西文化学術研究都市の中核都市として、研究所や研究開発型産業施設が集積。これらの知の集積を活用して新たな産業の創出や成長性の高い新事業への参入を後押しするとともに生産性改革を進め、質の高い雇用の創出を行う。また、新産業や製造業における質の高い雇用の創出が、卸売・小売、サービス業等の地域内の他の産業にも高い経済的波及効果をもたらすよう、地域外との取引で獲得した需要が雇用者の給与増を通じて地域内で好循環する状況を目指す。

## 促進区域

京都府木津川市

## 経済的効果の目標

1件あたりの平均44百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を4件創出し、これらの地域経済牽引事業が促進区域で2倍（平成23年京都府産業連関表：逆行列係数表における製造業の列和）の波及効果を与え、促進区域で352百万円の付加価値を創出することを目指す。

## 地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～②のいずれか）】

- ①木津川市の医療・医薬品関連、食料品・飲料関連等の研究開発型産業施設等の集積を活用した成長ものづくり分野
- ②木津川市のお茶関連産業の集積を活用した成長ものづくり分野

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：4,362万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 売上：11%以上増加 ●雇用者数：10%以上又は地元新規雇用者数1人以上増加 ●雇用者給与等支給額：13%以上増加

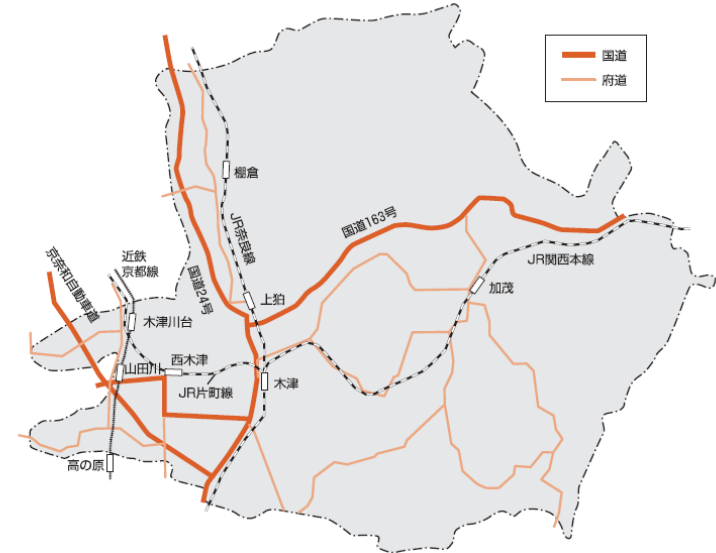
## 制度・事業環境の整備

立地企業への優遇制度、自治体保有情報の公開、事業者からの事業環境整備の提案への対応、（公財）関西文化学術研究都市推進機構新産業創出交流センターとの連携強化、インフラの整備

## 地域経済牽引支援機関

（公財）関西文化学術研究都市推進機構新産業創出交流センター、（公財）京都産業21、木津川市商工会、京都大学大学院農学研究科附属農場、同志社大学リエゾンオフィス

《促進区域図》



《研究開発型産業施設》



《茶問屋街》



## 計画期間

計画同意の日から平成34年度末日まで